

2025 年4月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 山口 普
(コード番号:8278 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 上席執行役員 企画・開発担当
豊田 靖彦
(TEL 082-535-8516)
当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号:8267 東証プライム市場)

特別損失の計上および 2025 年2月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上することとなりました。併せて、2024 年4月8日に公表した 2025 年2月期通期の連結業績予想値と実績値に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社及び当社グループの保有する固定資産のうち収益性の低下がみられた店舗等について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗を最小単位とする資産グループごとに将来キャッシュフローを算定し判定した結果、第4四半期連結会計期間において、以下の店舗資産等について減損損失 4,319 百万円を計上しました。(単位 百万円)

内訳	店舗数	金額
スーパーマーケット	92	4,143
レンタルCD・DVD店	6	114
レストラン・フードコート等	3	58
総合フィットネス	1	3
計	102	4,319

なお、2025 年2月期第3四半期までに計上しております 519 百万円を含めた当連結会計年度における減損損失は 4,839 百万円となります。

また、閉店等を決定している店舗における店舗閉鎖損失引当金 851 百万円を特別損失に計上しました。なお、当事象による業績予想値と実績値の差異につきましては、下記の「2. 2025 年2月期通期業績予想値と実績値との差異」に記載いたしております。

2. 2025 年2月期通期業績予想値と実績値との差異

2025 年2月期 通期連結業績(2024 年3月1日～2025 年2月 28 日) (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	810,000	15,500	17,700	8,000	92 円 32 銭
実 績(B)	808,928	12,953	14,315	3,818	44 円 06 銭
増減額(B-A)	△1,072	△2,547	△3,385	△4,182	—
増減率(%)	△0.1	△16.4	△19.1	△52.3	—
(ご参考)前期実績 (2024 年2月期)	801,022	15,110	17,374	7,436	85 円 80 銭

3. 業績予想値と実績値との差異の理由

当期における小売業を取り巻く経営環境は、食料品や生活関連品の値上げの継続により、お客さまの節約志向が一段と高まる中、原材料価格の上昇やエネルギーコストの増加が収益を圧迫するなど厳しい状況が続いています。

当社では、お客さまの生活防衛意識に対応した安さの提供や多様なニーズに合わせた付加価値の訴求により、食料品の販売が底堅く推移したものの、エネルギー価格や物流費の増加などが当初想定よりも大きく、各種コストの上昇を補うまでには至らなかったことで、営業利益、経常利益は業績予想値を下回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、店舗の資産価値や保有資産の効率化を精査したこと、計画以上に特別損失を計上したことに加え、法人税等が増加した結果、業績予想値と実績値に差異が発生することとなりました。

以上